

緑豊かでゆとりと潤いのある快適な環境と美しい景観の創造をめざして



# 日造協ニュース 2013.9.10 第474号

発行：一般社団法人日本造園建設業協会 編集：広報活動部会 <http://www.jalc.or.jp>  
〒113-0033 東京都文京区本郷3-15-2 本郷二村ビル4階 TEL:03-5684-0011 FAX:03-5684-0012

## 2020年オリンピック・パラリンピック

# 開催地が東京に決定

アルゼンチン・ブエノスアイレスで開かれた第125次IOC総会で、2020年オリンピック・パラリンピック競技大会開催都市が決定し、東京が開催都市となった。

東京都は、「今、ニッポンにはこの夢の力が必要だ」と招致活動を展開。スポーツには、人々が元気や活力を持ち、子どもたちの健全な成長に寄与し、人間の尊厳に基づく平和の実現に貢献する力があり、その最大の祭典であるオリンピック・パラリンピックを開催することこそが、今の東京そして日本には必要と訴えてきた。

基本理念には、東京精神の共有と現代社会への貢献として、安全、安心、かつ環境にやさしく、それでいてきわめて効率的な先進都市の一つのモデルを提示し、未来型の都市の建設に貢献することなどを掲げてきた。

会場計画は、東京開催のコンセプトである「コンパクト」に沿って、東京の過去と未来を独特な形で融合し、過去の遺産を守りつつ、「未来をつかむ(Discover Tomorrow)」ことができる都市であることを世界に示すものとなっている。

このため、会場は1964年東京大会のレガシーが残るヘリテッジゾーンと、未來の都市開発モデルである東京ベイゾーンの2つのテーマ及び運営ゾーンで計画。東京圏にある33の競技会場のうち28会場は選手村から半径8km圏内にあり、選手のことを最優先に考えた極めてコンパクトな配置となっている。

計画されている37の競技会場のうち15会場(41%)は既存のもので、その中の2会場は2020年大会のために恒久的な改修が必要。既存会場のうち3会場は1964年大会の時に整備されたもので、当時水泳とバスケットボールの会場だった国立代々木競技場は2020年ではハンドボールの会場に、体操や水球が行われた東京体育館は卓球の会場、日本武道館は1964年と同様2020年も柔道の会場として利用される。

2020年大会に向けて建設が予定されている競技会場は、総競技会場数のうち22会場(59%)で、このうちの11会場は東京のレガシーとして残す計画。ま

### 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会計画

オリンピック競技大会開催概要

正式名称: 第32回オリンピック競技大会

英文名称: The Games of the XXXII Olympiad.

開催期間: 2020年7月24日(金)~8月9日(日)

競技数: 28競技

パラリンピック競技大会開催概要

正式名称: 第16回パラリンピック競技大会

英文名称: Tokyo 2020 Paralympic Games.

開催期間: 2020年8月25日(火)~9月6日(日)

競技数: 22競技

た、こうした恒久施設のうち、1964年のオリンピックスタジアムであった国立霞ヶ丘競技場は、テストイベントが行われる2019年までの完成を予定し、2020年大会では開会式・閉会式、陸上競技、サッカー及びラグビーの会場に、武藏野の森総合スポーツ施設は、東京西部の多摩地域に2016年の完成を目指しており、2020年大会では近代五種が行われる予定だ。

会場の選定、建設状況及び立地は、東京の中長期計画「2020年の東京」を中心に、社会、開発、持続可能性に関わる東京都の計画に合わせるとともに、2020年東京大会を選手重視のコンパクトな大会にすることを目指している。

また、こうした会場には、公園が数多く関係しており、自転車競技を行う「皇居外苑」「武蔵の森公園」、トライアスロンや水泳を行う「お台場海浜公園」、ビーチバレーを行う「潮風公園」、カヌー(スラローム)を行う「葛西臨海公園」、アーチェリーを行う「夢の島公園」、そのほか、ボートや馬術、自転車競技が造成中の「海の森」となっている。

今回、2020年東京オリンピックの開催の決定で、「2020年の東京」では、街路樹や歴史的な庭園の保全なども掲げられており、東京都が積極的に取り組む校庭の芝生化などの一層の推進が期待される。

### 第40回 全国造園デザインコンクール 応募要項を公表

昭和49年(1974年)に日造協が創設した「全国造園デザインコンクール」が今回で40回目を迎えます。現在、文部科学省、国土交通省、全国農業高等学校長協会、(公社)日本造園学会のご後援、(一社)ランドスケープコンサルタント協会、全国高等学校造園教育研究協議会の共催で、毎年300点を超える作品が寄せられています。

今回は、これまでの公共的空間部門を商業施設部門に改め、一般、大学生、高校生の3部門で、A住宅庭園、B街区公園、C商業施設、D実習作品4つの課題としています。応募要項は日造協ホームページで8月末に公表。12月3日から平成26年1月11日まで作品を受け付けます。多数の応募をお待ちしています。奮ってご応募ください。

2面 【学会の目・眼・芽】 実務や技術に供する知見として問われる研究

(公社)日本造園学会幹事・(独)森林総合研究所主任研究員 高山範理

3支部で造園施工管理受験対策講習会を開催

2.3面 【特集】世界文化遺産登録「富士山」よもやま話

静岡県支部 石川正之(株)東海フォレスト

山梨県支部 堤 明伸(株)津々美造園

第30回全国都市緑化とつりフェアによせて 鳥取県支部長 田中静雄

4面 【ふるさと自慢】大阪府

12月、山口市はクリスマス市にイベント多彩 地酒と豊かな食材も

多々良健司(株)多々良造園

【緑滴】街路樹剪定士の活躍に期待する 米山浩史 横浜植木株北海道支店

第42回 技能五輪国際大会 日本代表選手が10位に

## 樹林

日造協理事、星造園土木株 代表取締役会長

星 三郎



## 復興へ向けて～造園人の誇りを胸に

この度の東日本大震災に際しましては、全国の造園および関連団体の皆様から、物心両面にわたり多くのご支援を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

さて、大震災発災から間もなく2年半になります。ここで、震災直後の宮城県の造園業界の活動を振り返りたいと思います。

◆  
平成23年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災は、日本観測史上最大となるマグニチュード9.0、最大震度7を記録し、主に東北地方から関東地方までの広範囲に渡る未曾有の大災害となりました。特に、地震の後に発生した巨大津波は、過去に類を見ない規模で太平洋沿岸を襲い、リアス式海岸等の地形的要素も相まって、甚大な人的・物的被害をもたらしました。

震災による被災地域の中でも岩手・宮城・福島の3県の被害は他地域より突出して大きく、「被災3県」と呼ばれております。この被災3県の中でも地震・津波による被害は宮城県が最大となっており、一部の地域では福島第一原発事故の影響を受け、風評被害も出ています。

◆  
このような中で、発災2週間後に、宮城県の造園業界は、仙台市から、津波により壊滅的な被害を受け流・倒木となつた防潮林の処分について相談を受けました。仙台東部海岸沿いは、標高13mまで津波が到達し、津波の強大なエネルギーは、数キロに渡る防潮林をなぎ倒し、復旧の障害となっていました。

仙台市は、被災した海岸沿いの国有林跡地を、今回の震災で発生した膨大な

量のガレキ集積所に予定しており、7万本に上った流・倒木を取り除くことが急がれたのです。

そこで宮城県の造園業界は、作業効率や安全面を検討し、作業範囲を5工区に分け、分担して作業に当たることとし、仙台市と協議して作業に取り掛かりました。

流・倒木撤去作業には、宮城県の造園業界から多い日には200人以上の作業員が入り、日曜日を除く20日間で完了させることができました。この間、延べ人員2,900人、使用したチェーンソー延べ1,700台、0.1m³~0.7m³バックホウ延べ790台、3t~10t不整地運搬車延べ270台を投入して作業に当りました。支援により提供されたチェーンソーもここで大きな力となりました。

また、集積した幹は場外搬出し、チップにして製紙工場の燃料に活用され、枝葉・根は現場で粉碎して焼却処分となりました。

震災からの復旧・復興の初期段階でその一助となり得たことは、私たち宮城県の造園業界として誇りに思えることであり、ともすれば意氣消沈してしまいがちな被災地にあって、今後の活力の源となる達成感がありました。

◆  
被災地は、未だ復旧・復興の途上にあります。

現在は解体・撤去等の復旧作業の一端を担いつつ、被災地の造園業者として、これから本格化する防潮林の再生、沿岸各自治体を中心とした新たな街づくりに、本業分野でもさらに尽力してまいりたいと思っております。

## 技術情報共有発表会 鳥取開催地で10/4実施

緑化フェア開催県での開催が恒例となった「技術情報共有発表会」を10月4日(金)14時から17時まで、鳥取市のホテルモナーク鳥取で開催します。

今回は会員から、「世代・地域をつなぐ里山再生は環境教育発信拠点へ」近畿総支部、「高木管理の効率化と安全技術」関東・甲信総支部、「ワントニアパーク枯葉落下防止について」九州総支部、「新庄村がいせん桜の保存について」中国総支部、日本造園学会から下村孝京都府立大学名誉教授の発表「造園技術報告集No.7に見る壁面緑化の技術・意匠と積年の課題」、藤原宣夫大阪府立大学大院生命環境科学研究科教授の講評をいただきます。発表会後は、中国総支部主催の交流会も実施します。

詳細は、本号同封のリーフレット、日造協ホームページをご覧いただき、皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。

## 全国造園フェスティバル

10/12-10/14中心に開催

## 造園PRの機会に

今年も「全国造園フェスティバル」を10月12日(土)~14日(月)(体育の日)を中心開催します(日程は各地のイベントに合わせて前後する場合があります)。

全国造園フェスティバルは、都市公園法施行50周年の記念事業としてスタートし、今回で8回目の開催となります。

全国各地の公園や広場で、さまざまな造園に関する催しが行われ、テレビや新聞など、多くのマスメディアに取り上げられるなど、広く造園のアピールにつながっています。

造園の素晴らしさ、技術・センスを多くの方々に知っていただくとともに、地域へアピールできるチャンスにもなっています。

開催予定など、詳細については、日造協ホームページをご覧ください。

# 世界文化遺産登録 「富士山」 よもやま話



南アルプスからの富士山

学会の目・眼・芽 第49回

## 実務や技術に供する知見として問われる研究論文集の意義

(公社)日本造園学会幹事・独立行政法人森林総合研究所 主任研究員 高山範理

平成23年度より2年の間、日本造園学会の論文集委員会および校閲委員会の幹事を務めさせて戴きました。簡単にご説明致しますと、論文集委員会は本学会の各専門分野から選ばれた約25名の委員によって構成され、学術投稿論文の募集、専門家への査読依頼、査読結果のとりまとめ作業、論文の採否の判定等を行います。また、校閲委員会はその採否の判定が妥当であるかどうかについて再度検証を行い、学会としての最終的な判断を下す機関です。

現在、論文集委員会では、年3回(3・7・11月)募集があるランドスケープ研究オンライン論文集(オンライン論文集)と、毎年9月に募集がある研究論文集(全国大会発表論文集)のふたつの論文集を担当しています。

もちろん論文集の発行は、著者および査読者、学会員等のみなさまの多大なご協力があって成り立つのですが、本委員会が特徴的のは、全国大会発表論文集の募集が始まる秋口から、それが発行される3月までの約半年の間、オンライン論文集と全国大会発表論文集のふたつの論文集の募集・審査・判定業務が平行して行われることになるため、スケジュール的に大変タイトなものとなるところにあります。

したがって、この期間、委員会に属する各委員は、文字通り寝る間を惜しむような労力を投じて、論文集の発行に向けた活動を行うことになります。

このように、毎号、関係者の大変な労力を礎に発行される論文集ですが、どうもここ数年、投稿数が減少傾向を示しており、また新規に投稿していく会員の方が少ないように思われて仕方ありません。論文雑誌への投稿者数の減少については、本学会に限ったことではなさそうですし、昨今の少子高齢化の流れの中で、多くの学会においても学生および若年会員等が減少しているという社会的状況下では、ある程度の減少はやむを得ないことなのかも知れません。

しかし、その一方で、今回の幹事の任期中に、廻りめぐって研究論文および論文集の魅力を減じている要因が幾つかあるように感じるようになりました。たとえば、まず、論文集の読者層や関心を持つ層が固定化していること

が要因として挙げられます。また、昨今、研究者の側で多くの業績を求められるようになり、論文集がいつの間にか、単に研究者の業績を確保するための主要な場となりつつあることなどもその要因のひとつかも知れません。

実際に、造園関係の技術者のみなさまにお会いした際に、論文集について尋ねてみると、同じく本学会より発行される「造園技術報告集」「造園作品選集」と比較して、「面白くない」あるいは「あまり読んだことがない」といったご意見を頂戴することがあり、幹事として残念に思うことが度々ありました。しかし、実のところこのような評価は、実務家や技術者のみなさまのお役に立つ新しい知見を提供する、という論文集のもうひとつの役割をこれまで怠ってきたことを諷刺しているに他なりません。

本来、本学会の論文集には科学的であればよい、論理的な矛盾点がなければよいという、科学・学術の世界に閉じられたものではなく、実務家や技術者のみなさまが携わる計画や意匠に、新しい着想や技術の萌芽を提供するという重要な役割があるはずです。

これは、学術と技術あるいは芸術との有機的な連携を保持し、互いに高め合うことで造園分野全体として発展して行こうとする本学会の基本理念からも明らかです。そして、その基幹的な雑誌として、今回ご紹介させて戴いたふたつの論文集に課せられた役割と潜在的な期待は、今後も大きくあり続けるものと思われます。

論文集委員会の方でも、平成20年度より「事例研究」「論説」というカテゴリを新設し、産官学民の境界を超えた分野の議論、報告を研究論文として位置づける試みを行っています。

現在までに事例研究等の掲載数も着実に増加しておりますので、是非、造園建設業の技術者等のみなさまにも、昨今変化しつつある論文集を折を見てご一読いただき、新しい科学・学術的知見にふれて戴ければと思います。また、今後の論文集がさらにみなさまのお役に立てるよう、実務家・技術者のみなさまの視点から、忌憚のないご意見またはご寄稿を頂戴できれば幸いです。

## 見て佳し、登って降りて良し、ぐるっと好し

富士山が世界遺産に登録されました。日本のシンボルたる靈峰が世界遺産に登録されたことは日本人として心から喜ばしいことです。

特に富士を頂く静岡県、山梨県にとっては感慨一入です。日本中の皆さんのがきっと同じ思いでいてくれていると期待します。

ところで、私は以前会社のY先輩から次のような話を伺ったことがあります。

Y先輩は小学生の頃、心臓に若干ハンディーがあり、水泳・マラソンなどの激しい運動を禁止されていたそうです。そんな小学生が、高校生になり、思いもよらない富士登山をすることになったそうです。Y先輩は同級生のサポートもあり無事登頂、心臓への不安は一気に解消し、このことがきっかけで、登山が趣味の一つに加わり、人生の、大きな進路変更とな

ったそうです。

実にY先輩は、1978年カラコム遠征隊のメンバーとして7,285m未踏の壁に挑みます。後に、このことがきっかけで南アルプス国立公園を舞台とする職業に就くことになり、森林インストラクターとしても活躍の場を拡げました。

富士登山を経験するまでのY先輩は海洋学部を希望し「海の男」を目指していました。でも、あの時、富士登山を選択したことで、Y先輩は、自分が思い描いていた人生とは思いもよらない方向の枝先で花を咲かせ、実を結びました。

そのY先輩は今夏、20名のメンバーのリーダーとして、40年ぶりに富士山に行なってきます。世界文化遺産登録のお祝いと、人生を導いてくれたお礼に…

富士山ってものすごく美しい山で、人の人生まで変えてしまう靈峰です。



県道223号(駿河湾フェリー)と富士山

## 3支部で造園施工管理受験対策講習会を開催

日造協では、会員の技術力向上、経営力強化に役立てるようさまざまなジャンルの講習会、研修会を実施しており、各総支部・支部でも、積極的に多くの講習会が開催されている。

こうした中、今回は、合格率が3割を切り、近年は施工管理技士のうちで最難関となっている造園施工管理技士に対応するため、「造園施工管理受験対策講習会」を福成敬三氏(㈱フォーサイト代表取締役)を講師に迎え、中国総支部(7月30日㈭~8月1日㈮・山口市)、近畿総支部(8月6日㈭~8月8日㈯・大阪市)、群馬県支部(8月22日㈯~8月



24日(金)・前橋市で開催した。

講習会では、受験要領と対策に始まり、過去問題の解説含め、造園の歴史から、造園計画～設計、造園材料：植物・土壌・石材、施工：植栽基盤工・植栽工・移植工、造園管理：植物管理、造園施設、測量、施工管理、法規などを3日間学んだ。



造園施工管理受験対策講習会のようす

数えられない沢山の人に影響を与え続けている山、人生を変えてしまうかもしれない『富士山』を見にいらしてください、お待ちしています。

<追伸>

静岡県側からですと美しい駿河湾もご覧いただけます。

静岡県支部 石川正之 (株東海フォレスト)



富士川越しに見る富士山



静岡県ではカーブミラーの中にも富士山が…

## 待ちに待った世界遺産登録

日本中が待ちに待った2013年6月26日、国連教育科学文化機関(ユネスコ)は、カンボジアの首都プノンペンで開催した世界遺産委員会で、横内山梨県知事も会場に駆けつけていた中で、日本政府が推薦した「富士山」(山梨、静岡両県)を世界文化遺産に登録した。

古来より富士山は、日本の象徴として

信仰や浮世絵の題材にもなっており、文化的意義が評価された。当初、世界自然遺産として登録を目指したが、ゴミの不法投棄による環境悪化、商業活動やりゾート施設など散在し、自然が保護されていない等の理由で、文化遺産登録の取得を目指した。

その「構成資産」は山頂の信仰遺跡群



山中湖越しの富士山

や富士五湖、三保の松原などを含む25件。正式名称は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉」となり。日本の世界文化遺産は13件となり、4件の自然遺産と合わせ、日本の世界遺産登録は合計17件となった。

登録後の観光客の増加や富士登山者が急増すると思われたが、本年山梨県側からの登山者は約23万2千人、任意であるが入山料の徴収。富士スバルラインのマイカー規制の延長等や、「弾丸登山」と言われる、夜から登山を始めご睡眠をとらない強行軍を抑制するPRも行ったこともあり、登山者は昨年より約1万4千人減少したそうである。

一方観光客は、本年(一社)山梨県造園建設業協会の地域貢献事業として、富士山の麓の富士吉田市立の小学校2校の校庭芝生化を行うための準備として足を運んだが、外国人の観光客が多いことも感じた(円高も追い風になっているみたい)。

最後に気象の話題であるが、本年最高気温全国2位山梨県甲府市では(40.7度)第3位勝沼(40.5度)があり、その上降水量も少なかった恩恵として、果樹は糖度が高くおいしいと言われています。暑さのピークも過ぎたのでは非山梨の秋の味覚を楽しんでください。

山梨県支部 堤 明伸 (株津々美造園)

## 水と緑のオアシスとっとり 2013

第30回  
全国都市緑化

## とっとりフェアによせて

いよいよ開催が近づいてきた第30回全国都市緑化とっとりフェア「水と緑のオアシスとっとり2013」。日本一広い湖山池で開催されるとっとりフェアは、世界ジオパークエリア内で開催される初の都市緑化フェアであり、約7万m<sup>2</sup>の細長い会場に鳥取の草花を中心、ポール・スミザー監修のも



さまざまなガーデンが紹介される

と170品種以上の草花を組み合わせた、ナチュラルガーデン。鳥取砂丘の「砂」を素材にした彫刻作品「砂像」と草花を組み合わせた新しいアート作品アースガーデン。全国の自治体や地元企業・団体、高校・大学によるショーガーデンなどさまざまなガーデンや鳥取自慢の食、各地の伝統芸能や地元パフォーマーによるショーなど日替わりステージも盛りだくさんです。

このフェアの特徴として「ともに育てる身近な緑」をテーマに身近な野山の草花などを再発見し、生活へ取り組むスタイル「鳥取流緑化スタイル」を県内外に発信します。また、県内で活躍する緑化

ボランティアなどが企画・運営する「協働のゾーン」など、多くの県民・市民の手でフェアを盛り上げています。

現在、会場では、約600種類39万株の草花植えや、会場作りに追われています。幸い7月、8月の上旬は雨が多く、草花もすくすく成長し、9月21日の開会式に間に合うように、業界と県民・市民のみんなで一丸となって、皆様を迎える準備をしています。

ぜひ、会場までお越し頂き、「鳥取緑」を見て頂きますよう宜しくお願い致します。それでは、皆様会場でお待ちしております。

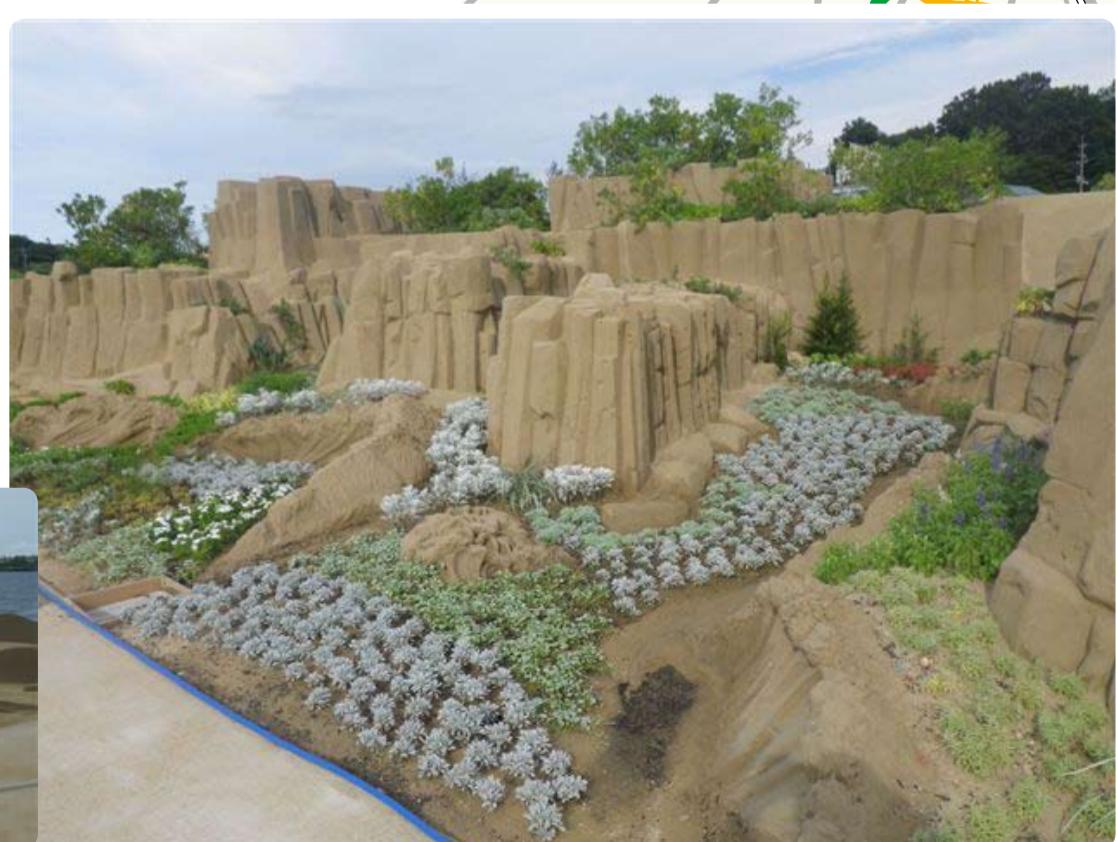
鳥取県支部長 田中 静雄



急ピッチで整備が進められている会場



鳥取砂丘の「砂」を素材にした彫刻作品「砂像」と草花を組み合わせた新しいアート作品アースガーデン



ふる  
と  
漫  
山口県

12月

イベント多彩  
地酒と豊かな食材も  
山口市はクリスマス市に



クリスマス - 記念聖堂 -

## 第42回 技能五輪国際大会 日本代表選手が10位に

第42回技能五輪国際大会がドイツ・ライプツィヒ市のライプツィヒメッセで、7月2日から7月7日まで行われた。

造園【Landscape Gardening】には、湯本光さん（19歳、㈲信州緑地）、鈴木幸さん（21歳、㈱第一緑地）のチームが日本代表として参加。そのほか、エキスパート：加藤輝昭氏（㈲加藤園）、公式通訳：今田康正氏（今田作庭園）、応援団として、卯之原昇日造協理事らが訪れた。

大会は、52カ国・地域から886人の選手が参加、46職種の競技が行われ、日本チームは造園職種を含め、40職種に参加。金賞5職種、銀賞4職種、銅賞3職種、敢闘賞18職種となった。

造園職種は、16カ国・地域から16チーム・32人が参加し、日本チームは10位。600点スケールで、1位の金賞はスイス（558）、銀賞はドイツ（546）、銅賞はオーストリア（527）、4位から7位の

敢闘賞は、順にイタリヤ南チロル（518）、オランダ（517）、スウェーデン（517）、オーストラリア（512）で、8位フランス（497）、9位台湾（496）、10位日本（495）となった。

日本は国際大会で金賞を獲得したこともある。今回、練習用と競技の使用材料が異なったり、国際基準と国内基準の違い、英文での説明書への対応など、不慣れな点やより多くの練習などが反省点とされた。次回の活躍に期待したい。



日本チームが作成した庭

## 【9月】

- 1(木)・全国労働衛生週間準備期間～30(月)
- 2(月)・第1回街路樹剪定士認定委員会
- 5(木)・運営会議
- 6(金)・総務委員会（広報活動部会）
  - ・A I P H 総会ほか～13(金)
- 15(日)・植栽基盤診断士認定試験（学科試験）
- 20(金)・植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 21(土)・第30回全国都市緑化とつりフェア開会式～11/10(日)
- 26(木)・技術委員会（調査・開発部会）
  - ・第3回社会保険未加入対策推進協議会
- 27(金)・植栽基盤診断士認定委員会

## 事務局の動き

## 【8月】

- 1(木)・運営会議
- 5(月)・事業委員会（造園フェスティバル推進部会）
- 6(火)・造園施工管理受験対策講習会（大阪市）～8/8
- 7(水)・総務委員会（広報活動部会）
- 8(木)・第3回植栽基盤診断士認定委員会（試験部会）
- 22(木)・造園施工管理受験対策講習会（前橋市）～8/24
- 26(月)・技術委員会（技術情報・研修部会）
- 27(火)・街路樹剪定士認定委員会（試験部会）
- 28(水)・総務委員会（社会保険未加入対策部会）
  - ・「植栽基盤整備ハンドブック」編集委員会
- 30(金)・社会保険未加入対策講習会（宮崎県支部）

1552年12月9日、山口の地で降誕祭が行われました。その前の年、当時の守護大名である第31代大内義隆は宣教師フランシスコ=ザビエルの布教の願いを寛容な心で受け入れていたのです。

これが日本で初めてクリスマスが祝われた日と史料に記録されています。『12月、山口市はクリスマス市になる。』をキャチフレーズに大内氏とザビエルの「きずな」を賛美し、大切ないます。

家族や仲間との「きずな」を温め合う、そんなひとときを過ごす時を用意しております。

12月の初日、「山口サビエル記念聖堂」内で亀渕友香聖歌奉納、その後聖堂をバックに市内外の数百名のクワイヤーズとともに圧倒的な歌声と荘厳な灯りで始まります。聖堂前の広場では「きずなBAR」で温かいフードやホットワインでクリスマス市の始まりを祝います。



土田氏によるベニチア「ハーリーズバー」の代表的カクテル「ベリーニ」④ ふぐ刺し

市内では数十を超えるイベントが繰り広げられ、昨年は2008年オープン国際彫刻展に日本代表で出典、最優秀グランプリに輝いた土田康彦氏が、ベニチアの老舗レストラン「ハーリーズバー」（料理人として修行していたことがあります）の代表的なカクテル「ベリーニ」を披露。秋採りの桃と山口の地酒を調合。自らの足で見つけた市内の豊かな食材とともに、食のアートも体感できます。

冬至も過ぎると師走。あちこちの市場がにぎわい、新酒の酒を買い込み正月を迎えます。県内には19の酒蔵があり、どれも自慢の品を提供してくれています。近年、600名程度しかいない集落の小さな酒蔵から世界に打って出た「獺祭」が有名。製造が追いつか



いとか。東京に直営店も出店されました。

冬と言えば、「ふく」。家では食べませんが、年末年始の宴では必ずと言つていいほど出てきます（予算次第ですが）。まあ、スーパーにも刺身や鍋用の具材が普通に並んでますが、水揚量で言えば、アンコウも2番目のこと。山口の冬は大陸からの季節風をもろに受け底冷えがしますが、内燃焼器官から温めて春を待ちます。

中国地方を代表し鳥取県で都市緑化フェアが開催されます。詳細は鳥取の皆さんにお任せしますが、開催期間が11月上旬まで延びた理由をご存知ですか。かに漁の解禁が11月上旬ですって。行かなくちゃ。

多々良健司（株多々良造園）

景観や道路環境の保全、自然の潤いと安らぎを与えるはずの街路樹が残念な結果になってしまる。

### 街路樹剪定士の活躍に期待する

米山 浩史  
横浜道植木店(株)